

活動名:リベルタサッカースクール練習試合

日 程:平成29年11月5日

会 場:岩瀬悠久の郷グラウンド

参 加: E4～T6クラス37名

帯 同:設楽・貝和コーチ

報 告:設楽コーチ

リベルタ（サッカースクール）さん（大島蒼学校利用団体として交流）からのお誘いを受け4年生以上を対象とした交流戦を行いました。

リベルタ <https://liberta.jjfc.com/>

当初はリベルタさん、アーレ、他チームの3チームによる2カテゴリー（6年生以下、4年生以下）で行うお誘いを受けましたが、他1チームが不参加となり、リベルタさんとアーレのみの練習試合のような形式で実施していただきました。

○6年生以下

リベルタ 2チーム

アーレ 2チーム

各チーム20分ハーフ1試合、15分1本、15分1本

○4年生以下

リベルタ 1チーム

アーレ 1チーム

15分3本、15分1本、PK交流戦

リベルタさんは11月の3連休に西郷村で合宿を行い、最終日の5日に交流戦を企画され私たちをお誘いいただきました。

リベルタさんの参加者は3チームでそれぞれ8人ぴったりの構成に対して、アーレは久しぶりの8人制の練習試合ということもあり参加人数が多い状況でした。また、試合開始が11時の終了時間が14時であったことから、少ない試合数から各自の出場時間が短くなることを選手に伝え、また少しの出場時間でも大切に全力でプレーするように伝えました。

交流戦は勝ち負けではなく、なるべく参加したみんなが平等に出場できるようにメンバーを設定しましたが、試合の流れもあり平等とはなかなかいきませんでした。選手たちの多くは理解してくれたと思います。

リベルタさんが交流戦にもかかわらず本気でプレーしてくれたので、アーレの選手たちも初めは緊張感がない様子でしたが、試合が始まると「ガチ」の気持ちの戦いの様子となり、非常に良い雰囲気です。試合を進めることができました。

また、当初は14時終了でしたが、リベルタさんの子供たちがもっと少し試合をしたいといったリベルタさんのスタッフへ要求したことから、6年生以下は1本多く試合をお願いされ、かえってアーレとしては良かったのですが、保護者への終了時間が守れなかったこと失礼しました。

今回のプレーで特にこだわったことは、どこのポジションからでも常にシュートを狙うことでした。ディフェンスラインを崩してからシュートを打つのは難しく、ほとんどそのようなシュートの機会が作れないことから得点チャンスが生まれにくいこともあり、常にペナルティエリアの外から強いミドルシュートを打つ意識を持たせ、フォワードのみならず全ポジションが得点の意識がある戦い方を伝えてみました。そのため良いシュートが多々みられました。

シュートレンジが短い選手は厳しい戦い方ですが、そのような選手はドリブルでシュートレンジまで持って行く意識、シュートできる位置にいる選手へのパスの役割でいいと思います。しかし、高学年ではペナルティエリアの外からゴールに届くようなキック力は身につけてほしいと思います。そのためには普段の練習で意識して強く蹴る、大きくロングキックをすることを意識して練習してほしいと思います。練習前の個人練習でも習得できますね。

これからはフットサル大会の時期になりますが、重く硬いフットサルボールを強く蹴ることができないと得点することがなかなかできないので、是非今後もこのような練習をしていきたいと思っています。

今回は天気も良く、グラウンドも少し滑りましたがコートラインもしっかりとリベルタさんのスタッフさんが引いてくださり、練習試合とは思えない良い環境で試合ができたことを感謝いたします。この度は交流をありがとうございました。また機会がありましたら宜しく願いいたします。

コーチ：設楽









